来・ぶらり

RYUKOKU UNIVERSITY LIBRARY NEWS

龍谷大学
図書館報
No.55
https://library.ryukoku.ac.jp

CONTENTS

01 新館長巻頭言
02 学生に薦めたい、この一冊
04 戦争・平和文献コレクション
06 R-OCEAN 命名式、NDL デジタル化資料送信サービス導入
08 滋賀県大津市議会と龍谷大学図書館との連携について

〈TOPICS〉

開館２年を経ずに 新深草図書館入館者数 100 万人突破

100 万人目となった杉本さんと安藤館長（当時）

年が明けて授業が開始し、新深草図書館が大勢の利用者で賑わう中、2017 年 1 月 10 日に開館以来の通算入館者数が 100 万人を突破いたしました。

新深草図書館は、大学教学施設の充実を目的としたキャンパス整備の一環として、2015 年 4 月 1 日に開館しました。館内には、“多様な学びの空間”である龍谷大学ラーニングコモンズの一角を占めるナレッジコモンズも設けています。ナレッジコモンズでは、大学院生のチューターによる学習支援（レポートの書き方やレジュメの作成の仕方等のライティング支援）等を提供しています。

全国の大学図書館の利用状況が横ばいまたは減少傾向を示す中にあって、深草図書館の利用者は２年連続で前年度よりも増加しています。記念すべき 100 万人目の利用者は、文学部日本語日本文学科 1 年生（当時）の杉本拓海さん。杉本さんには、安藤図書館長（当時）から記念品が贈られました。

本との出会い、人との出会い

龍谷大学図書館長
新田　光子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新入生はじめ在学生、院生の皆さん、龍谷大学で学ぶすべての皆さんが、新年度にたくさん本との出会いをしていただき、本をとおしても、いろいろな人との出会いを経験されることを心から願っています。

大学は、純粋に知識を求め、純粋な人間関係をうちたてることができる場です。純粋な知的好奇心にもとづいて知識を探求することができ、利害損得ではなく人と交わることができる人生最高のチャンスを、今、皆さんは手にしていると言えるでしょう。

知的な好奇心をみたす最善の方法は読書です。ゲーム、アニメ、映画なども知的な楽しみをあたえてくれるかもしれません。でも、深く広い「おもしろさ」は、本にはかなわないと思います。

読書の「おもしろさ」は、なによりも人との出会いにあります。まず、著者との出会いから始まります。著者は、事実やフィクションを語りながら、自らの関心や考え方などを伝え、さまざまな問いを読者に投げかけているのが普通です。

それだけではありません。著者は、著作をとおして、古今東西の、実在、あるいは架空の人たちを読者に紹介してくれるのです。著者や登場人物の生き方や考え方に、共感したり、反発したりしながら読み進めていくうちに、いつのまにか読者であるわたくしたちの生きる世界が広がっていくのです。本を読むことは、無限の世界を旅することにほかなりません。

共通の趣味や関心をとおして人間関係が親密になることは、だれでも経験していることですが、とりわけ本の話題に当てはまります。ある本を読んで非常に感激したとき（あるいは期待外れで非常に腹がたったとき）、無性にだれかに語りたくなりませんか？この場合は、本が“人を呼ぶ”のです。

授業の発表準備のため、レポートを書くため、論文を書くために、本を読まなければならないことがあります。しかし、それを苦痛と考えずに、新しい本との出会い、新しい人との出会いのチャンスと考え、読書を楽しんだらいいのです。それが大学での学びだと思います。

龍谷大学３キャンパスの３つの図書館、新築の深草図書館、歴史を誇る大宮図書館、そして緑に映える瀬田図書館、いずれも皆さんが手軽に利用していただけます。

大学生活は日々忙しく過ぎてしまうかもしれませんが、大学時代こそが好きな本を、好きなだけ読むことができる貴重な時期でしょう。

学生に薦めたい、この一冊 ★★★

深草図書館.
文庫・新書
081/コウタ
/2317
資料番号
11500020338

大宮図書館.
2F 開架図書
081/KOU/2317
資料番号
21505010181

瀬田図書館.
本館 1F 開架
302.33/カトフ
資料番号
31505037460

『ふしぎなイギリス』

笠原敏彦［著］ 講談社 2015年

現在のイギリスの状況を知るためには、必読の書である。2015年に出版されたものなので、EU離脱決定や、盟友アメリカでのトランプ大統領誕生がもたらした衝撃については考察されていないが、2016年に出来した新たな展開に至るまでの前史として読めば、思わず得心がいく情報が多々含まれている。例えば、309ページでは目下イギリスの為政者の手足を縛る課題として「グローバリズムへの世論の反発」と「内向きなナショナリズムの高揚」が挙げられている。所々に差し挟まれた「コラム」も文化的な豆知識を提供してくれて楽しい。

Recommenders :

文学部 教授
福本 宰之

深草図書館
文庫・新書
081/チクマ
/1228
資料番号
11600041234

「ココロ」の経済学 ―行動経済学から読み解く人間のふしぎ

依田高典［著］ 筑摩書房 2016年

人間とはいい加減な存在です。例えば、やらなければならないことをつい後回しにしてしまった経験は、誰にでもあるでしょう。本書は、そんな人間の非合理性に迫ります。本書を読んで人間のこころの弱さを知り対策を練れば、勉強や課題を後回しにするといったことがなくなるかもしれません。本書は、人への思いやりなど人間のこころのいい部分も解説しています。本書を読んで、人間のこころの不思議を考えてみてください。

Recommenders :

経済学部 准教授
新豊 直輝

深草図書館
和顔館開架
377.15/マケカ
資料番号
11405020827

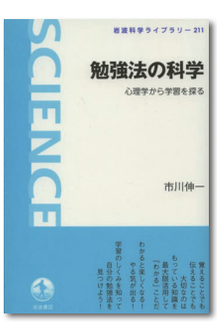
『学生主体のコーチング型教育 ゼミ授業で学生は成長する』

松島桂樹［著］ 白桃書房 2014年

皆さんの多くはゼミに所属していると思います。おそらく他の授業よりもゼミに費やす時間は長いのではないでしょうか。本書は，そんなゼミ活動に取り組む皆さんにおすすめの一冊です。タイトルだけを見ると，「教員向けの本では？」と思うかもしれません。もちろん教員が読んでも参考になりますが，むしろ学生の皆さんに気づいてもらいたい内容がたくさん詰まっています。ゼミでのチームワークやリーダーシップ，学修や研究の方法など，皆さんがゼミをとおして主体的に学び成長するための手掛かりとなるでしょう。明日からのゼミ活動に役立ててくれること期待しています（ゼミ以外でもレポートや卒論に役立つはずです！）。

Recommenders :

経営部 准教授
西岡 久充



深草図書館.
和顔館開架
400/イワナ/211
資料番号
11305024886

瀬田図書館.
本館 2F 開架
408/イワナ/211
資料番号
31305024210

『勉強法の科学 - 心理学から学習を探る』

市川伸一［著］ 岩波書店 2013年

厳しい大学受験を乗り越え、晴れて大学生となった皆さんには、受験勉強（あるいはこれまでの小・中・高校での学生生活）を通して培った自分なりの勉強法があるではないでしょうか。しかし、果たして、その勉強法は理に適っているのでしょうか。そんなことを改めて考えさせてくれるのが本書です。本書で得た知識、方法は、今後の大学での学習に必ず役に立つでしょう。本書をぜひ（本書の「はじめに」だけでも）読んでみてください。

Recommenders :

法学部 教授
玄 守道

深草図書館.
和顔館開架
141.5/レスセ
資料番号
11505010884

0ベース思考

Steven D. Levitt, Stephan J. Dubner［著］（櫻井祐子［訳］） ダイヤモンド社 2015年

「わかりきったこと」に向き合うことほど退屈なものはない。そんなふうに思うことってありませんか。「そんなの当たり前じゃないか。何を今更、馬鹿馬鹿しい！」と皆が思ってしまう「わかりきったこと」にこそ、見方を変えると新たな発見の糸口が隠れていることが少なくないのです。ストレスが原因と思われていた胃潰瘍の原因が実はピロリ菌だったことを発見したオーストラリアの若い研修医、ホットドッグの大食い世界記録を約2倍に塗り替えた華奢な日本人青年・・・世間の常識を一旦ゼロベースにして考え直したら、新たなモノやコトに繋がります。
「物事を多面的に見なさい」と言われてもなかなかピンときません。今回お勧めする本にはそのヒントが詰まっています。

Recommenders :

政策学部 教授
中森 孝文

『日本の住まいと風土性 : 国際日本文化研究センター共同研究報告』

オギュスタン・ベルク［編］　国際日本文化研究センター　2007 年

深草図書館 .
和顔館開架
703.8/ ニチフ
/41
資料番号
10700036956

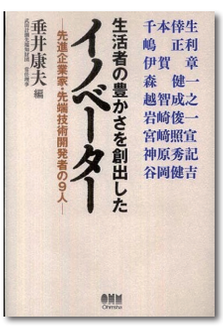
現在フランスにおける日本学の第一人者であるオギュスタン・ベルクが、欧日の人間社会と空間・景観・自然に対する思想比較を視座に、戦前・戦中に唱えられた「日本人論的な」イデオロギーではなく日本文化を科学的に理解し、新たな「近代の超克」のような哲学を暗示している。研究の幅や影響力を把握するためにも、彼の元で行われた共同研究の報告書を推薦したい。

Recommenders :

国際学部 教授
シルヴァン・カルドネル

『生活者の豊かさを創出したイノベーター 先進企業家・先端技術開発者の９人』

垂井康夫［編］　オーム社　2010 年



瀬田図書館 .
本館 2F 開架
502.1/ タヤセ
資料番号
31105007156

今日の私たちの生活はスマートフォンに代表されるように便利な道具で支えられています。一昔前では友達と連絡を取るにも家族の方に電話を取り次いでもらったり、外出先では公衆電話にお金を入れて手帳に書いた番号をダイヤルしていましたが、現在ではいつでも、どこででも、誰とでも、情報交換を簡単に行うことができます。その他にも私たちの見えないところで多くの技術革新が現代社会を支えていますが、こうした便利で豊かな社会が作られた背景には多くの技術者のひたむきな努力があります。本書では、現代社会を支える技術革新を産み出した日本人技術者の様々なストーリーが描かれています。特に理工系分野を学んでいる皆さんにとっては、自身が学んでいることが社会にどのように役立つかを気付くことができ、これからの目標設定に役立つ一冊になることと思います。

Recommenders :

理工学部 教授
宮武　智弘

『郊外の社会学 ―現代を生きる形―』

若林幹夫［著］筑摩書房　2007 年

深草図書館 .
文庫・新書
081/ チクマ /649
資料番号
10705003536

瀬田図書館 .
本館 B1 文庫
081/ チクマ /649
資料番号
30705000880

多くの現代人は都市郊外に暮らしているが、その実態は「ばらばらな人びとが孤独なまま共にある」状態に陥っている。著者は郊外が形成される過程を分析しながら、郊外の住民にとっての基準が、実は地域の内にではなく「メディアや大衆消費文化のなかに」しかないことを明らかにしていく。本書は郊外や都市、地域社会について学ぼうとする読者に、新しい視点を与えてくれるだろう。

Recommenders :

社会学部 教授
佐藤　彰男

『食と農の教室１　知っておきたい食・農・環境』

龍谷大学農学部食料農業システム学科［編］　昭和堂　2016 年

瀬田図書館
本館 2F 開架
610.4/ ショク /1
資料番号
31600018228

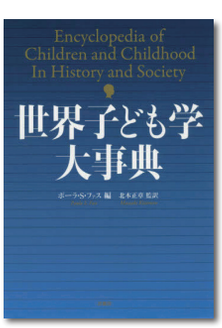
シリーズ『食と農の教室』は 2015 年に本学に開設された農学部の食料農業システム学科に所属する 14 名の教員が分担執筆し、それぞれの学びの姿をわかりやすく紹介するものです。農学部以外の皆さんにも、農学部を、そして農学を身近に感じてほしくて、ここに紹介します。すでにシリーズは第３巻まで発刊されていますが、特にこの第１巻と続く第２巻『食・農・環境の新時代』は農学に触れたことのない人が食・農・環境の来し方行く末を概観するのに最適です。巻末の執筆者紹介イラストも必見ですよ。

Recommenders :

農学部 講師
山口　道利

世界子ども学大事典

ボーラ・S・ファス［編］　北本正章監［訳］　原書房　2016 年



瀬田図書館 .
本館 1F 開架
371.45/ フホセ
資料番号
31605024901

深草図書館 .
社研参考図書
R3/14-6/ セコタ
資料番号
11609007117

この事典には、乳幼児から思春期、青年期までの子どもの文化や教育、福祉や労働など、約 450 の項目が掲載されています。しかもただの調べものの説明にとどまらず、ある時は喜びに満ち溢れ、ある時は悲惨な子どもの生活状況が歴史を遡ってまるで物語のように描かれています。是非一度足を運び、興味のある項目のページを開いてみてください。子どもにまつわる様々な世界が目の前に拡がるでしょう。

Recommenders :

短期大学部 教授
田岡由美子

戦争・平和文献コレクション
～龍谷大学図書館の新たなコレクション～

龍谷大学は、創立 370 周年記念事業として『龍谷大学戦没者名簿』を 2011 年に刊行しました。編纂は龍谷大学創立 370 周年記念誌編纂室が多くの方々の協力を得ながら進めましたが、とりわけ戦争・軍隊研究者で著名な高橋三郎氏（京都大学名誉教授）の蔵書を利用出来たこともあり、他大学に類を見ない『龍谷大学戦没者名簿』を刊行することが出来ました。

そして、このことがご縁となり、高橋三郎氏が、長年収集・所蔵されてきた戦争・平和関係の蔵書（8,911 点）を本学に寄贈して頂くことになりました。

第二次大戦後、日本では軍事的なものを否定する風潮が強かったこともあり、戦争・平和関係の図書を所蔵する大学図書館や公共図書館は、それほど多くありません。

その意味で、高橋氏の蔵書は、大変価値があるものです。建学の精神にもとづいて平和研究や教育に力を注いできた本学は、この機会に氏の蔵書を基礎として、利用可能な図書 7,447 冊（和書：4,011 冊、洋書：3,436 冊）を「戦争・平和文献コレクション」と名付けて資料を保存管理し、教育・研究に活用していきます。

蔵書寄贈に込めた思い

高橋三郎氏
（京都大学名誉教授）

このたび、わたくしが所蔵しておりました戦争や軍隊に関する内外の研究書や資料を龍谷大学図書館に寄贈させていただくことになりました。学長、図書館長はじめ教職員の皆さまのご列席のもとに立派な贈呈式まで催していただき、感激いたしております。

この機会に、なぜ龍谷大学に蔵書をお願いする気になったのか、蔵書の特色はなにか、の2点につきまして簡単に述べさせていただきます。

きっかけは、２０１１年に龍谷大学が創立３７０周年記念事業の一環として、『龍谷大学戦没者名簿』を刊行したことにあります。時宜を得た企画で、他大学に類を見ない成果をあげたと思います。その戦没者調査の責任者が社会学部の新田光子先生（現図書館長）でした。新田先生は、わたくしの古い研究仲間ですが、わたくしの専門が戦争・軍隊の社会学的な研究でしたので、戦没者調査のお手伝いをすることになりました。わたくしの役割は、文献資料のなかで戦没者の消息を探すことでした。

「戦記もの」を読み返すなかで、何人かの亡くなられた卒業生の方に出会うことができました。マレー沖海戦でイギリス主力艦隊を発見した索敵機の機長として一躍ヒーローになったＨさん、著名な詩人のビルマ戦記に若き僧侶の死について一章があてられているＫさん、元当番兵が書いた沖縄戦記のなかで敬愛の念をもって戦死の状況がくわしく語られているＩさん、その遺書がたびたび引用される海軍特別攻撃隊琴平水心隊のＳさんなどなど、いずれの出会いにも心を動かされました。そこには亡くなられた方たちの生きた証があったからです。

この感動の延長上で、これまで集めてきた文献資料を龍谷大学に寄贈させていただければと強く思うようになりました。自分が大切にしていた文献資料が生かせるのは龍谷大学ではないかと勝手に決めさせていただいたわけです。

わたくしの蔵書の特色は、ひとつは、その時々の研究テーマを反映して、軍事社会学、「戦記もの」、戦友会、ホロコー

スト、戦争犯罪、平和研究、人間の攻撃性、戦争と女性・子ども、戦争映画、旧日本軍精神教育などなど、グループごとにまとまっていることです。古書や雑誌など、整理にご迷惑をおかけする資料もありますが、研究資料としては、それぞれ意味があるものと自負しております。研究テーマによっては、現在では多くの文献が入手できますが、戦後、研究者や図書館が戦争・軍隊研究に関心を持たなかった時期の文献、特に外国文献が多いことが、わたくしの蔵書のもうひとつの特色と言えると思います。

目録を手にした高橋氏を囲んで

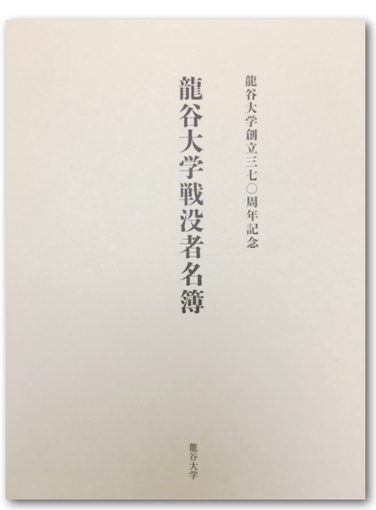
小さなコレクションですが、これが呼び水になって、龍谷大学が誇れるような「戦争・平和文献コレクション」に成長することを心から願っております。

戦争・平和文献コレクション展開催

2016 年 11 月 28 日 (月) ～ 12 月 28 日 (水)

本学図書館の新たなコレクションとなった「戦争・平和文献コレクション」がどのような内容のものかを、学内外の皆さんに知っていただくために、深草図書館にて展観を開催いたしました。「戦争・平和文献コレクション」は、多岐にわたる分野の資料が含まれていることが特徴であるため、あえてテーマを設けることなく、様々なジャンルの文献を紹介することとしました。実際に手にとって貴重な文献に触れていただく機会となりました。

『龍谷大学戦没者名簿』



深草図書館	大宮図書館	瀬田図書館
龍谷出版物	1F 閉架禁帯	本館 B1 禁帯
210.75/ リユリ -F	000.1/587	210.75/ リユリ
資料番号	資料番号	資料番号
11200044808	21200046483	31200008694

龍谷大学が創立 370 周年記念事業の一環としてすすめてきた「龍谷大学戦没者名簿」は 2011 年に刊行されました。龍谷大学では、戦没者調査室を中心に、戦没した龍谷大学関係者（学生・教職員）の調査・研究を 2009 年 4 月から 2011 年 10 月まで実施しました。この調査を通じて、大学の社会的な責任をあらためて考えるとともに、戦争の史実を記録として記念誌にまとめ、大学の歴史の一頁として後世に語り継ぐことを目的としていました。

龍谷大学卒業生・在校生でアジア・太平洋戦争で亡くなられた方おひとりおひとりの生きられた証となるよう、今回の調査で明らかになった 301 名の戦没者名簿となっています。

戦没者名簿作成にあたっては、戦没者遺族・校友、あるいは調査協力者から多数の文献・写真・資料をご提供いただきました。それらは戦没者おひとりおひとりの生きられた証であると同時に、アジア・太平洋戦争期の龍谷大学を史実にもとづいて語る大変貴重な資料です。

R-OCEAN
命名式を行いました

とりあえず検索
R-OCEAN

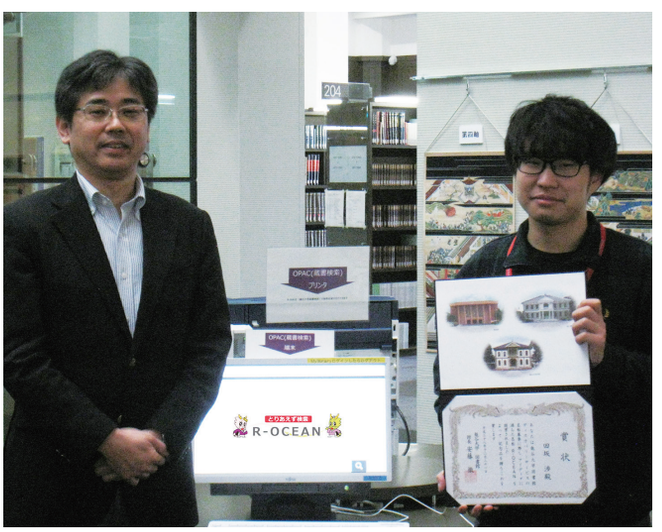
Ryukoku university **O**nline **C**atalog for **E**ducation & **A**cademic **N**avigation system

2016 年 12 月 21 日に“R-OCEAN”命名式を大宮図書館で行いました。

R-OCEAN の名称は文学部日本語日本文学科 4 回生（当時）田坂 渉さんが命名してくれました。

“OCEAN”は従来の蔵書検索システム R-WAVE に加えて、龍谷大学が所蔵する図書・雑誌だけでなく電子資料（電子ジャーナルやデータベースなど）も含めて幅広く検索できることから、波（WAVE）よりも広い範囲、情報の“海”を検索するという意味が込められています。

命名式で、安藤徹図書館長（当時）から賞状と記念品が授与された田坂さんは「このような画期的なシステムに名前をつけることができて光栄です」と感想を述べています。



龍谷大学図書館ツィッターを開始しました

ロンロンつぶやく Twitter

@ ryukoku_lib

フォローしてね

国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを導入します

国立国会図書館が提供するデジタル化資料送信サービスは、国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な資料を全国の公共図書館、大学図書館等（国立国会図書館の承認を受けた図書館に限る）の館内で閲覧・複写できるサービスです。

複写物を取り寄せる場合、従来であれば発送事務手数料･送料･振込手数料等がかかっていましたが、複写料金［1 枚 10 円（税別）］のみで資料を入手できるようになります。

利用できる資料（平成 29 年 1 月 5 日時点）

資料種別	概　　要
図書	昭和 43(1968) 年までに受け入れた図書、震災・災害関係資料の一部　約 55 万点
古典籍	明治期以降の貴重書等や清代後期以降の漢籍等　約 2 万点
雑誌	明治期以降に発行された雑誌（刊行後 5 年以上経過したもので、商業出版されていないもの）　約 1 万タイトル（約 80 万点）
博士論文	平成 3(1991) ～ 12(2000) 年度に送付を受けた論文（商業出版されていないもの）　約 12 万点
脚本	日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアムから寄贈された昭和 55(1980) 年以前の放送脚本（テレビ・ラジオ番組の脚本・台本）の一部　32 点

利用できる方

1. 本学 (短期大学部を含む。以下同じ。) の専任教育職員，特別任用教員，専任事務職員，職務限定職員及び嘱託職員
2. 本学の学生 (大学院学生，留学生別科生及び科目等履修生等を含む。)
3. 本学の名誉教授及び客員教授
4. 本学の非常勤講師
5. 本学が受け入れた研究員

サービス開始時期

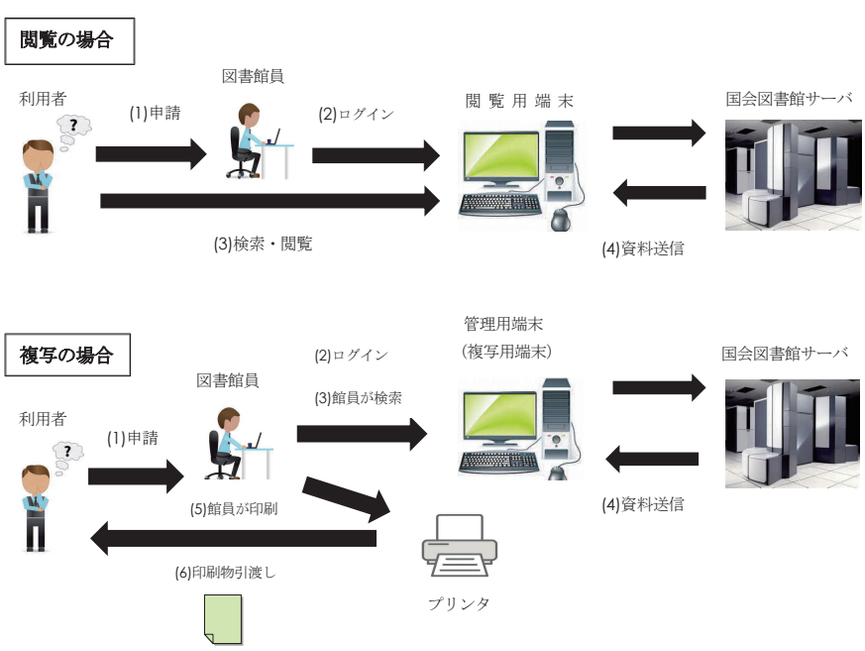
2017 年 4 月

導入館

龍谷大学図書館全館

※利用方法については、各図書館閲覧カウンターまでお問い合わせください。

国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの利用イメージ



滋賀県大津市議会と龍谷大学図書館との連携について

利用受け入れに至った経緯、現状及び今後の課題を中心に大津市議会と龍谷大学図書館との連携について紹介します。

○地域社会貢献

大学、大学図書館にとって、地域社会貢献は重要なミッション（使命）の一つです。「龍谷大学図書館の理念と目標」（2014年３月制定）においても、「本学が有する知的資源の公開や施設の開放等を通じて、地域・社会に貢献する」という目標を掲げています。その目標を達成するために新たな取り組みとして、2016年４月より龍谷大学図書館（以下、「当館」）は大津市議会議員及び大津市議会局の利用受け入れを開始しました。

○大津市議会との協定

大津市議会と龍谷大学（以下、「本学」という）は、本学が有する専門的知見を活用して議会改革を推進し、政策課題への適切な対処を地域社会の発展を実現すること目的として、2011年11月にパートナーシップ協定を締結しました。議員研修において、本学教員が講師として大津市議会議員の質問力や政策形成能力の向上を図るといった活動を継続的に展開しています。

○大津市議会からの協力依頼

大津市議会と本学が連携実績を積み重ねるなか、2015年８月に地域課題や政策を理解・分析し論点提起する「議員力」の更なる向上を目的とした図書館資料等の利用及び大津市議会図書室の整備充実に関して相談・協力の依頼が当館にありました。

○図書館資料の利用

図書館資料の利用に関して当館では、大津市市議会議員の受け入れにあたり、議員研修資料の精読、地方議員を対象とした本学主催の質問力講座への見学参加、大津市議会一般質問の傍聴、議会図書室への訪問、大津市議会局との打ち合わせ等、情報収集及び情報分析を中心とした事前準備を行いました。

具体的な受け入れ準備として、図書館利用カードの作成及び配付を行うとともに、昨年５月24日（金）に利用者説明会として大津市議会議員及び大津市議会局職員に来校いただき、瀬田図書館及び深草図書館の図書館ツアーと図書館利活用に関する本学教員による講演会を開催しました。

大津市議会議員の方々は、議会会期の間を縫うように館内閲覧、館外貸出、レファレンス、資料の取り寄せ等のサービスを少しずつ利用されており、実績を積み重ねているところです。

○図書室の整備・充実

議会は、図書室を設置することが地方自治法第100条第19項で定められています。しかしながら、多くの地方議会では十分に整備されておらず、その機能を果たしていない現状があり、大津市議会も例外ではありませんでした。大津市議会は、議会改革の一つとして「議会図書室の充実」を掲げておられ、この課題を解決することを重要視されています。

当館は、議会図書室の整備充実に向け、大津市議会議員のニーズを把握しつつ、大津市議会局担当者との協議や議会図書室購入図書の選書等の協力を進めています。

○今後の展望

上述のとおり、大津市議会議員による当館利用や議会図書室の整備・蔵書の充実は、その緒に就いたばかりです。2017年４月現在、地方議会と私立大学図書館の連携事例は他に事例なく、大津市議会と当館の連携がその先例となります。

小さな一歩ですが、焦らず一歩ずつ地域社会貢献という目標に向かって歩みを進めていきます。

龍谷大学 RYUKOKU UNIVERSITY

龍谷大学図書館報
来・ぶらり 第55号
2017(平成29)年4月発行

編集・発行　龍谷大学図書館
〒612-8577　京都市伏見区深草塚本町67
TEL. 075-645-7885（ダイヤルイン）
https://library.ryukoku.ac.jp